

おっぱい通信

—赤ちゃんに優しい病院を目指して—

2017年

3月号

Vol.13

岩手県立磐井病院
BFHプロジェクトチーム

～BFH認定施設を見学してきました～

3月2日(木)にBFH (Baby Friendly Hospital) 認定施設である山形市立病院済生館を見学してきました。

目的はBFH申請へ向けて、BFH認定施設の取り組みやスタッフのケア実践・マニュアルの内容を知り、当院のBFH申請への課題を明確にするためです。

実際に病棟や外来を見学し、産婦人科医師や小児科医師と母乳育児推進についてディスカッションをしてきました。

ピカノの
母子像



見学を終えて ～今野貴子主任看護師より～

BFH認定病院とあって、至るところに「母乳育児成功のための10カ条」のポスターが掲示されているのが印象的でした。また、申請には**病院一丸**となって取り組まなければならないのだと痛感しました。特に**事務や薬剤師・栄養士さんが協力的**で、様々な提案をし、赤ちゃんだけでなくお母さんにとっても優しい支援をしていました。

今回の見学でやらなければならない点が明確となりました。みなさんに是非力を貸して頂き、BFH認定に向けてより一層頑張っていきたいと思えます!!!



次年度の取り組み

おっぱい通信を発行し、早一年が過ぎようとしています。皆さん、いかがでしたでしょうか？

「母乳育児を成功させるための10カ条」を知って頂く情報源として、また当院で実際行っている内容を取り上げてきました。

次年度は2月に母乳育児推進委員会での進捗状況なども発信していきたいと思えます。



お問い合わせ

院内の妊婦の皆様、当院での妊婦健診を受けられている方もいない方もぜひおっぱいについて話しましょう！
わからないこと、聞きたいことは是非ご相談を！！
さらに、**一緒にこのチームに参加して頂ける方**も大募集！！どうぞお気軽にご連絡ください★

BFHプロジェクトチーム

チームリーダー：今野貴子(3西病棟)

通信発行担当：佐藤 恵(3西病棟)